

小松崎 ふみよし 政策ジャーナル Journal



ヒューストン市役所にて

**行動派
宣言!** Challenge For
Advance

KOMATSUZAKI, FUMIYOSHI
2017
Vol. 85

ごあいさつ



平成29年はお世話になりました。議長は公平性の観点から、議場での自身の考えを述べる場面が無くなりました。今号は同僚議員の質疑や行政とのやり取りを通して、私の政策・提案事項の確認を行い、実現につながったことが確認できました。進捗状況や私の意見と議長としての活動もお知らせ致します。

● 平成 29 第 2（岩井議員）・3（秋葉議員）回定例会自民党市議団代表質問・行政とのやり取りから ●

1. 老朽化した団地型住宅が、建て替えてバリアフリーに!! 余裕のある敷地で高さ制限があれば成立は困難だった…

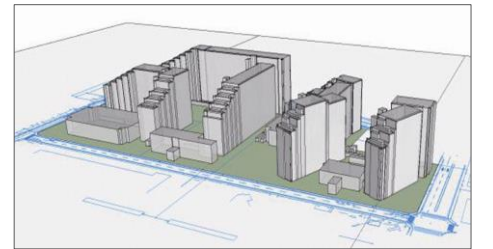
市内には、高度経済成長期に開発された団地が多数ある。建物の老朽化と居住者の高齢化が同時進行しており、建物と地域コミュニティの再生が課題となっている。更に階段室型5階建て住棟の団地が多数あることから、エレベーター設置などのバリアフリー化が課題となっている。このような状況の中、美浜区の団地、若潮ハイツの建てかえ事業が着実に進行している。マンション建て替え円滑化法を活用した建てかえ事業で、本市では稲毛台住宅に続く2例目の建てかえ事業となる。建て替え費用の負担などの問題から所有者の合意形成が困難となっている状況で、この若潮ハイツの建てかえ事業がよい事例として、ほかの団地へ波及することが期待される。

質問 本市の団地の再生の取り組み、若潮ハイツ事業化の概要とできた要因、今後、ほかの団地の再生に向けた取り組みは。

答弁 分譲マンション再生等合意形成支援制度により、再生合意活動費用一部を助成。合意形成段階では、事業化に向け地域再生支援事業により、設計、工事などの費用の一部を助成。建てかえ前は、13棟500戸の団地を二つの敷地に分割し、南側の敷地は5棟397戸を建設。北側の敷地は、売却し、別途、事業者側で4棟612戸の分譲マンションを建設し全体で9棟1,009戸を建設する計画。北側の敷地を売却した資金を事業に繰り入、事業の採算性が図られた。入居者移転の負担軽減となる、敷地内の建物での仮住まいが可能になった。都市基盤施設が一定程度整っており、都市基盤施設を活かした団地の再生が重要、再生支援策について、さらに検討を深める。



若潮ハイツマンション（美浜区）の現況



近隣住宅に影響の少ない高層棟イメージ



エレベーター設置などのバリアフリー化の課題に一貫して取り組み、一歩ずつ実現してきた再生支援策の拡充・高度地区制限からの建て替え事業除外が今回役に立ち良かった。更なる規制緩和と支援策拡充を!!

2. 公立保育所建て替えは民間活力で早期に防災強化と行政負担削減を!! 民設民営だと市の負担は約4分の1に!!

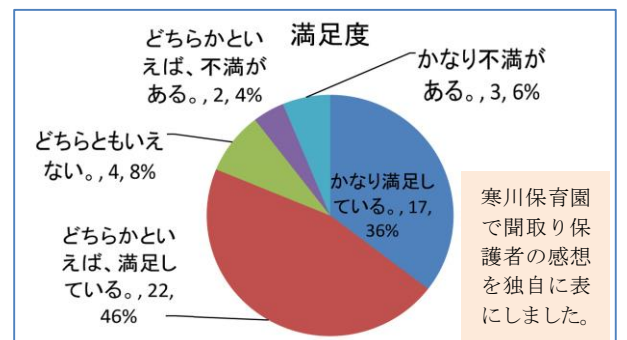
民設民営による建て替えが予定の緑町保育所と大森保育所は、既に整備運営法人が決定。公立保育所の民営化を推進すべきと主張してきたが、両保育所の民間移管が実現すると、平成27年4月に移管が完了した寒川保育所を含め、本市での民営化3件目の事例となる。保護者の皆様の御意見、御要望に十分に耳を傾けながら、安全で質の高い保育を目指し、円滑な建てかえ及び移管に万全を期するべき。

質問 両保育所の民間移管進捗状況、保護者からの意見や要望、今後の公立保育所の建てかえ予定は。

答弁 現園舎の解体撤去及び新園舎建設を行う平成30年4月からの1年間は仮設園舎を設置して保育を行う。保護者、整備運営法人及び本市による三者協議会を開催、多岐にわたる御意見・御要望があった。保護者からも高い評価を得ている寒川保育園の事例を参考にしつつ、老朽化が著しい木造保育所の小倉台、千城台西及び小深の3カ所の建て替えを着実に進めていく。



3保育所の建て替えの際には、地元で実績のある学校法人や社会福祉法人（希望者が多い）に移管し質も向上させ、企業型保育所（国から補助で市の財政負担なし）も推進し、市の財政負担の大幅削減を!!



3. 産業廃棄物の不法投棄対策が強化されます。



一般の方からも協力を!!

質問

現状における取組みと今後の対応は。

答弁

市職員によるヘリでのスカイパトロールや民間警備会社に委託し、夜間・休日のパトロールを365日実施、監視カメラ増設。従来からの郵便局、10月にタクシー協会、トラック協会とも覚書を締結。近隣市、警察とも連携し対応を強化。



不法投棄現場



市役所直接の取り締まりには限界がある。既存提携先の他、近隣の住民、ドライブレコーダー付きの車にも協力をもらってはどうか。

4. 全国市議会議長会指定都市協議会からの要望。



仮設住宅の建設が遅れないように法改正を!!

要望

1 多様な大都市制度の早期実現

道州制も視野に道府県から指定都市への事務・権限と税財源の移譲を積極的に進め、多様な大都市制度の早期実現を。

2 地方税財源の充実確保

- ① 地方税・地方交付税等の一般財源総額の充実確保を。(国の制度通り行くと、市の負担分が増え、財源が足りなくなる。)
- ② 政令市は余裕がない中、行財政改革に取り組み、税収減や災害等に備えて不足していた基金を積み立て、基金残高が増加した。これを以て国は政令市への地方財政計画への歳出削減は行わないこと。

3 災害対応法制の見直し

指定都市で災害関連の法改正を行い、大規模災害時において指定都市が持つ能力を十分に発揮できる制度確立を。



政令市議会を代表し岸田政調会長・元外務大臣に手渡す。



人口が多い大都市ほど、国民健康保険や生活保護等で国から決められた財源よりも市の支出が多くなり不公平。実際に熊本市や仙台市では震災後もっと早く仮設住宅が設置できた、県と協調のために、遅れが生じた。余力で近隣市も援助できる。

5. ヒューストン市を公式訪問して来ました。



平成 29 年 10 月 9 日 (月) ~ 13 日 (金)

(1) 訪問目的

姉妹都市提携 45 周年にあたり、友好関係確認書への立会人として署名 (写真) を行い、友好関係を両市とも互いに確認し、今後も両市の発展的な関係を約束した。また大型ハリケーンからの復興応援のため、市民からの「ヒューストン市洪水被害見舞金」と「応援メッセージの寄せ書き」をターナー市長に手渡す。議員として米国内での慰安婦像の設置に懸念を伝えた。

(2) 主な内容

■ヒューストン市役所表敬訪問

市役所を表敬訪問。ターナー市長からは、公式訪問団の歓迎と、日本庭園への支援、ボーイスカウトの受入れ、バレエ団の千葉市公演、復興支援等の感謝と、今後一層の交流促進等を表明した。

■メトロポリタン・マルチサービスセンター訪問

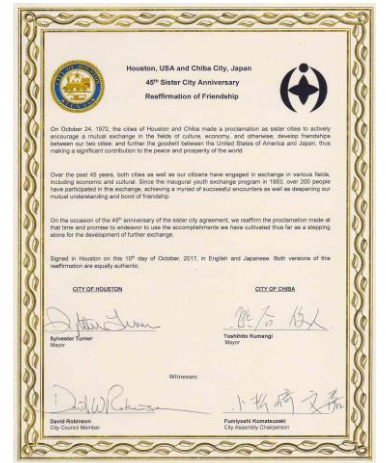
障害者レクリエーション施設で、レクリエーション・スポーツ等を提供。パラリンピック開催時への相互協力の話をした。

■リバーオークス・バプティスト・スクール (ROBS) 訪問

ROBSは、幼稚園から中学生までのキリスト教系私立学校。平成27年からの青少年交流事業における千葉市青少年受入校であり、千葉市から派遣された中学生たち(5人)は、当校の生徒とともに数日間授業を受ける。

■ヒューストン市GHP経済関係者との意見交換 (GHP: ヒューストン地域の経済団体)

相互の経済成長のため、両国に移転を希望する企業への支援、立地する法人同士の提携、更なる両市の人事交流に努めることを確認。(現在も千葉市職員がヒューストン領事館で勤務。)



立会人署名した友好関係確認書



今後の発展的な関係を築いていくことを切にお願いすると共に、米国内の一部で進められている慰安婦像の設置に対する懸念も伝えた。ヒューストンの市議らからは本市にはそういった勢力は少ないので、友好を台無しにするような行為が行われる可能性は将来にわたって極めて少ないだろう、と語ってくれた。

小松崎ふみよし・プロフィール



事務所

昭和45年(1970)4月30日生まれ
 稲毛幼稚園卒業 (現在、評議員)
 千葉市立山王小学校卒業
 千葉市立横橋中学校卒業
 千葉県立千葉北高等学校卒業
 (現在 同窓会副会長)
 法政大学法学部法律学科卒業
 (現在校友会千葉中央支部常任幹事)

職歴
 衆議院議員うすい日出男秘書 10年
 公設第一秘書、事務所責任者を歴任
 千葉市議会議員(稲毛区選出) 3期当選
 (6, 813票でトップ当選)
 自民党千葉市連青年局長を歴任
 現在
 千葉市議会議長 自民党市連青年局長
 千葉市社会福祉協議会山王地区部会長

37 地区自治会連顧問(山王中地区)
 千葉市少年軟式野球協会顧問
 稲毛区少年軟式野球連盟顧問
 千葉市アーチェリー協会会長
 県美容業組合千葉支部顧問
 千葉市早朝野球連盟副会長
 千葉市ソフトボール協会顧問
 千葉市総武リーグ顧問

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町 112-1
 電話: 043-424-0001 FAX: 043-421-6667
 E-mail: info@2344.jp
 HP URL: 2344.jp
 開設時間【水・金】13:30-16:00
 (年末年始・GW・8月を除きます、
 不在時は小松崎本人の携帯に転送)
 お問い合わせ・ご意見お待ちしております。